

第4回 新城市総合計画審議会会議録

日 時：令和8年7月1日（水） 18時00分から20時13分まで
場 所：新城市役所 本庁舎4階 会議室4-2、4-3会議室
出席者：委員12名 事務局6名

次第

- 1 会長あいさつ
- 2 審議会委員の紹介（新たに審議会委員に就任された方）
- 3 副会長の選出
- 4 新城市総合計画（概要）と令和7年度総合計画審議会振り返り
- 5 協議事項
 - （1）第2次新城市総合計画中期基本計画の進捗状況
 - （2）第2次新城市総合計画後期基本計画の構成案
- 6 依頼事項
 - （1）第3期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証について
- 7 その他（事務連絡等）

【審議会内容】

- 1 会長あいさつ
- 2 審議会委員の紹介
 - ・西垣委員、清水委員
- 3 副会長の選出
 - ・森田委員
- 4 新城市総合計画（概要）と令和7年度総合計画審議会振り返り
（事務局説明）
 - ・新城市総合計画（概要）
 - ・令和7年度総合計画審議会振り返り
- 5 協議事項
 - （1）第2次新城市総合計画中期基本計画の進捗状況
 - 目指すべき姿Ⅰ 個性輝く多様な「ひと」が活躍しています
（委員より意見・質疑）
 - ▶ 「講師の育成数」を指標に掲げているが、部活動の存続においては大きな課題を抱えている。指標のあり方を再度検討してもよいと思う。
 - ▶ 駅前商店街のシャッター街化という課題についても、対策を示していく必要があると考える。軽トラ市等の取組みとの結びつきについても検討していくべき。

- ▶ 若者や女性が活躍する場をどのように確保するかが問題。組織役員への女性登用などを試みようとしても、地域での選考が「回り番」で行われるといった慣習が残っており、現実との間にギャップが生じている。また、若者の意見を協議会や審議会など様々なところへ反映させるため、若者議会のネットワークを通して、若者を各種団体へ推薦や紹介することは可能なのか。そのような仕組みはあるのか。

(事務局回答)

- ・若者議会OB・OGの団体があり、SNSで繋がっているため、そちらを通しての情報提供は可能である。若者の意見聴取や会議出席の依頼については、市民自治推進課が窓口となって対応する。

- ▶ 女性の起業・創業者数は目標を達成しているが、市民満足度が低下している点を、市はどのように捉えているか。「創業」は増加していると思うが、廃業する数も増えており、持続性が課題であると考える。

(事務局回答)

- ・成果指標の達成度評価（以下、「行政評価」という。）と市民満足度に乖離があることは市としても課題と感じており、この乖離を少しでも解決できるような指標を後期基本計画には掲載できるように検討する。

- ▶ 新城市自治基本条例で年1回以上の開催が義務付けられている「市民まちづくり集会」の開催回数を目標に設定するのは、いかがなものか。

また、地域協議会や若者議会などの事業は数値化が難しいが、開催回数だけで評価する手法には検討の余地があると思う。

(事務局回答)

- ・会議の開催回数といった指標はなるべく避け、成果を重視する方向で評価指標を改善していきたいと考える。

- ▶ 市役所男性職員の育児休業取得率について、令和7年度の実績が91.3%と高いにも関わらず、目標値は15%と低いのはいかがか。

(事務局回答)

- ・令和5年度から目標数値を変えず設定してきたが、現実には目標をはるかに超えている。後期計画では、指標そのものを改めるか目標数値を改めるか検討する。

●目指すべき姿Ⅱ 快適で潤いのある「ちいき」に暮らしています
(委員より意見・質疑)

- ▶ 公共交通網の整備に関する目標が、異なる施策間で重複しているように見受けられるため、整理が必要である。
- ▶ 満足度が低い項目(病院や交通など)について、数字だけでなく「何に満足していないのか」を具体的に把握する手法を構築するとよい。

●目指すべき姿Ⅲ 活力にあふれた「まち」になっています
(委員より意見・質疑)

- ▶ 企業誘致については未達成であり、市民満足度も低い。積極的なアピールが不足しているように感じられるため、その部分を強化する必要があると思う。また、製造業やサービス業の満足度が低いため、詳細な分析が必要であると感じる。
- ▶ 中小企業支援の指標を「支援制度数」ではなく、「実際に活用した企業数」にする方がよいと思われる。
- ▶ 間伐面積の指標を「市事業分」に限定しなくともよいのではないかと。また、材価低迷や林道整備の遅れに対し、森林環境譲与税の積立金を有効活用した取組みも増やしていただきたい。
- ▶ 平均年齢の高い稲作農家の後継者問題について、市がどのように考えているのか見えてこない。水田、畑地に対する施策、指標も検討してもらいたい。
- ▶ 公共交通分野について、目指すべき姿Ⅰ・Ⅱに指標が掲げられているが、それぞれの分類については実態に即して分類する方がよい。
- ▶ 豪雨で傷んだ林道の整備や、農産物価格・材価の安定に向けた国への働きかけや、そのことも含めた指標の検討が必要と思う。
- ▶ 農林業において行政評価は高い一方で市民満足度が50%と低い。市民満足度調査では市民に何を聞いているか。調査する内容が足りていないように感じる。

(事務局回答)

- ・満足度調査の中では、農林水産業の振興として大きな括りで調査しているため、数ある取組の中で1つでも不満があれば、満足度が低くなってしまう側面がある。ただし、乖離がある現実を受け止め、次期の施策に反映できるよう検討する。

●行政経営の方針

(委員より意見・質疑)

- ▶ 行政手続のオンライン化（DX）について、市民が利便性を実感できるよう、具体的な対象業務を明記するなど分かりやすい記載がよい。
- ▶ 市民満足度調査の有効回収率（4,000人対象）や、令和7年のアンケート内容は令和3年と同じ内容か。

(事務局回答)

- ・満足度の項目は同じ内容である。あわせて、令和7年のアンケートではシティプロモーションや物価高騰対策などの設問も追加し、個々の取組みも活かせるよう現状把握に努めている。

(2) 第2次新城市総合計画後期基本計画の構成案

(委員より意見・質疑)

- ▶ 社会情勢の変化について、外国人労働力の変化を整理するとともに、政策的に後押しする仕組みを検討すべきである。
- ▶ 素案が一般的な内容になっており、「新城市ならではの」課題や強みが表現されていない。SWOT分析などを用いて、より具体的な状況把握が必要だと思う。

6 依頼事項

- (1) 第3期新城市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証について
(事務局説明)

7 その他

(事務局説明)

- ①議事録署名について
- ②後期基本計画策定に係るスケジュールについて

上記を第4回新城市総合計画審議会の会議録として確認した。

署名

署名